

大宮“WA こうど”の会 意見交換会 会議録

1. 日 時 令和元年 12 月 4 日(水) 15 時 35 分～17 時 40 分

2. 会 場 大宮区役所 1 階多目的室

3. 出席者 27 名

(参加者) 17 名(5 校)

・飛鳥未来きずな高等学校大宮キャンパス

石井さん(A)

・大原簿記情報ビジネス専門学校大宮校

上野さん(B)、岡本さん(A)、橋本さん(B)、藤井さん(A)、宮崎さん(B)

・クラーク記念国際高等学校

小澤さん(B)、小野さん(B)、内藤さん(A)、野村さん(A)

・埼玉動物海洋専門学校

小林さん(A)、関口さん(B)、千葉さん(A)、戸松さん(A)、松崎さん(B)

・埼玉福祉・保育専門学校

新井さん(B)、中島さん(B)

(A)・・・A グループ

(B)・・・B グループ

(区職員) 1 名

会田(大宮区長)

(事務局) 4 名

コミュニティ課

(傍聴人) 5 名

4. 内容

(1)開会

(2)区長挨拶

(3)協議事項

○そもそも大宮二十景って

・事務局から大宮“WA こうど”の会、意見交換会の趣旨について説明した。

・事務局から大宮二十景について説明した。

1:成り立ちについて

2:コミュニティ課の啓発活動について

3:大宮二十景に求められる要素について

「区への愛着を高める場所であること」、「区の魅力向上に効果があること」等

○考察！大宮二十景

A,Bグループともに立候補によりリーダーと書記を選出した。

	リーダー	書記
Aグループ・・・	内藤さん	野村さん
Bグループ・・・	上野さん	関口さん

以降、グループディスカッションの司会進行をリーダー、意見のメモと発表を書記が行った。

a:大宮といえば、まず何？

- ・各グループごとに自己紹介をして、大宮のイメージについて話し合った。

b:大宮を代表する景観

- ・大宮二十景(あるいは大宮区内)において、大宮を代表する景観としてふさわしい3か所を協議した。

Aグループ・・・大宮駅 氷川神社 若者向けの商業施設

主な意見 ・大宮駅は大宮のまちの中核である。

- ・氷川神社の歴史の深さは誰もが知る場所である。
- ・現在の大宮二十景は年配の人が好みそうな感じがする。スイーツなどのお店が集まる場所も入れてはどうか。
- ・歴史的なものが多い。若者向けのさいたま新都心の商業施設はどうか。公園より印象に残る。
- ・区外かもしれないが、三橋総合公園は生き物もたくさんいるし、スポーツも出来て、三橋エリアで生活する人々にとって、いち推しの場所である。

Bグループ・・・氷川神社、大栄橋、普門院

主な意見 ・大宮を紹介するときの定番は氷川神社(と参道)。

- ・多くの人の写真スポットである。大宮の玄関になっている。(大栄橋)
- ・駅中は豆の木をはじめ、ルミネや若い年代も利用するスポットなど沢山あるので、もっと掘り下げてはどうか。
- ・桜並木通りは春限定だがきれい。逆に季節によって景観が楽しめる大宮二十景もある。通年で楽しめる場所が良いのではないか。あるいは、おすすめの季節がわかるようにすると良い。
- ・紅葉や夜景、秋と冬にきれいなところも良い。コクーンシティのイルミ

ネーションはどうか。

・大宮公園小動物園などは無料で入りやすく、親子で楽しめる良スポットだと思う。

∴グループごとに協議結果発表

c:知られていない大宮二十景

・現在の大宮二十景において、選定に疑問がある3か所を協議した。

Aグループ 1:「心なごむ、ハナミズキの並木道」

・シーズン以外の時期に行くとした木。せっかくガイドを見て行ってもがっかりするのでは？

2:「高速道路と広くゆったりした公園」

・普通の公園でわざわざ取り上げるほどか疑問。

3:「切敷川を彩る橋、花々、カモたち」

・ゴミが溜まっているところが見受けられ、単純に景観が悪い。あってもなくても印象が薄い。

その他意見 ・同じような場所、季節を選ぶ場所が多いと思う。

・景元寺や普門院も氷川神社と並べてしまうと今ひとつ目立たない。
など

Bグループ 1:「切敷川を彩る橋、花々、カモたち」

・道が細く場所がわかりづらい。ゴミがあり汚い。写真のイメージと違って実際は残念な感じ。

2:「謙信の伝説を伝える景元寺」

・周りは墓地であり、あまりいいイメージではない。またアクセスも悪く、観ようとしても入りづらい。

3:「高速道路と広くゆったりした公園」

・特別感がなく、無理やり二十景に入れた感じがする。柵が小さく小さな子には危ないのではないか。むしろゆったりできないのでは。
・高速道路はどこにでもある。名前にパンチがない。

その他意見 ・木が邪魔で上から見ないとひょうたんの形がわからない。

・看板にひょうたん池ではなく調整池と書いてある。

「芝川と緑に包まれたひょうたん池」

・学校の敷地内のため観に行きづらい。「古代の風吹く稲荷塚古墳
など側ヶ谷戸古墳群」

・全部春の写真。季節分けしては。

など

○今後の大宮二十景について

・大宮二十景の今後の在り方について協議した。

A グループ ・春夏秋冬それぞれに名所となる四季の二十景を選んだり、二十景のアクセントとして飲食店にフォーカスを当てたり、何かしらのジャンル分けを提案。

・飲食店はまちの良さに関わる。氷川神社の周りも紹介したらどうか。

・二十景の数は二十のままでよいと思う。街を周るには大すぎず、少なすぎない数だと思う。ただ、若者向けの名所も入れて広い世代に親しまれる二十景が良いのでは。

・ガイドブックは見やすく周りやすくをポイントに。

B グループ ・二十景の数はこのままでよいと思う。微妙な場所を増やしても魅力向上にはつながらず、無理矢理感が否めない。ふさわしくない場所を新しい場所と入れ替え、数は変えないのがよいのでは。そして、ガイドを見て訪れた際、残念に思われない場所を選ぶべき。立ち寄れる場所、また来てもらえる場所が良い。

・ジャンルに分けての紹介

①季節ごとに分ける案 春・夏 10 景、秋・冬 10 景

②年代ごとに分ける 若者、家族連れ、シニア向けなど

・ガイドブックの説明書きの中に“春におすすめ！”と加え、季節を知らせる。季節ものの場所は外さなくても良いので、今の PR を改善する方法もある。

・飲食店などは閉店などもあり、大宮二十景として含めるには、慎重に考えたほうが良い。店ではなく、アルシェやそごう等大きな建物なら残るのでは。

∴グループごとに協議結果発表

(4)課長講評

(5)閉会

・アンケート記入